



# 優しい風の吹く街



11/25 文教生活常任委員会

コロナ禍の中で2021年がスタートしました。新型コロナウイルス感染症の拡大が治まらず、いままでに経験したことのない年末年始を過ごされたことと思います。「マスク生活はいつまで続くのだろう。これからどうなっていくのだろう。」と誰もが不安を抱える日々となっています。一日も早く医療・介護・学校・保育等の現場で働く人たちへのPCR検査の拡充などの対策が必要です。また、生活が困窮している人たちへの支援も待った無しの状況です。国や県に頼るだけではなく、市独自の対策も打ち出していくよう求めていきます。今年もしっかり頑張りますのでよろしくお願いいたします。

## 兵庫県新型コロナ追跡システムのご利用方法

### ステップ1

店舗・施設やイベントに提示されているQRコードを、訪れるたびに読み取ってください。



### ステップ2

QRコード読み取り後の画面でLINEアカウント情報またはメールアドレスをご登録ください。



### ステップ3

QRを読み取った店舗・施設やイベントで陽性者の利用が判明した場合、注意喚起情報を通知します。



## 議会報告（12月議会可決の議案など）

### ●一般会計補正予算第8号

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、阪神北広域こども急病センター運営継続支援金、ひとり親世帯給付金再支給等）

### ●市立病院事業会計補正予算

### ●市立病院「乳腺外科」開設

### ●子ども発達支援センター条例改正

### ●「GIGAスクール構想」教職員用タブレット機器購入

### ●学校給食用PEN食器購入

### ●高機能消防指令システム取得

### ●国の責任による「少人数学級」の実現を求める意見書の提出を求める請願 採択

## 11/7 オンライン議会報告会



宝塚市議会ではコロナ対策のため初めてのオンライン報告会を行った。各委員会報告と事前質問にお答えする形で実施。市内外から参加があり、良い反応をいただいた。今後も工夫して進めていきたい。

## 宝塚市子どもの権利サポート委員会

### <質問>

発足から6年間の活動実績と課題は。学校や事業所等への勧告・意見表明・要請はあったのか。

### <市長答弁>

相談件数の1年間の平均相談件数は約450件。勧告・要請・意見表明に至った案件はないが、調査活動を行った案件が22件あった。ダイヤルカードや啓発グッズ、学期ごとのお便りの配布による啓発を行っているが、子どもたちに十分には浸透していないことが課題。委員が各学校で人権学習を行い、子どもの権利意識の醸成と制度の周知に努めていく。

### <質問>

サポート委員の交代と今後の新たな展望は。

### <市長答弁>

2名の交代に伴い、2ヶ月間は委員を5名体制とし丁寧に引き継ぎを行った。今後も子どもと一緒に考え、子どもの考えを尊重し、子どもの悩みや抱える課題を、子どもと一緒に解決していく。一人でも多くの子どもの権利を守るよう取り組む。

### <質問>

意見を代弁する「子どもアドボケート」の制度改革は。

### <子ども未来部長答弁>

子どもの権利条約の理念も踏まえ、子どもの声を聴く技術の向上を図りながら活動していく。

## 都市計画道路・荒地西山線

### <質問>

工事の長期化から近隣住民の不安の声も聞かれるが、順調に進んでいるのか。

### <市長答弁>

市道逆瀬川仁川線（旧県道）までの小林側は概ね道路整備が完了し、阪急今津線との立体交差部分や千種側に工事範囲を拡大し、現在は千種側で本線のトンネル築造工事約100mを実施しており来年6月ごろに完成する予定。引き続き千種側本線



の掘割区間に着手するが、片押し施工や狭隘（きょうあい）な施工ヤードなどから2022年度末までの完成に数年の事業期間延長を見込んでいる。

### <質問>

小林工期分の本線開通後、千種地域の県道とつながる暫定区間道路の騒音対策や安全対策は。

### <市長答弁>

車道部分を騒音の抑制される舗装に打ち換え、歩道と車道を分離するガードレール等の柵を設置。歩行者の安全を確保することを検討している。また市道1380号線や市道918号線との交差点の信号機の設置を関係機関と協議している。

### <質問>

県道明石神戸宝塚線からの右折が増えても右折レーンもなく西山橋で渋滞が起こるのではないかと。

### <都市安全部長答弁>

時差式信号の制御により大きな渋滞はないと予測。

### <質問>

西山橋付近での渋滞解消のためにも、できるだけ早く千種工区にも着手してほしい。全面的な開通が待たれるところであるが、見通しはどうか。

### <技監答弁>

千種工区が阪神北地域の「社会基盤整備プログラム」の事業調整箇所位置付けられたので、市としては小林工区完了後、切れ目なく県の工事として

宝塚市道路網基本構想



行っていけるよう本年8月に兵庫県宝塚土木事務所との協議をスタートさせた。

北野さと子の意見

県道として整備できる可能性が出てきたので良い調整を進めてほしい。

市民に愛される宝塚市の街路樹

<質問>

「植木のまち宝塚」にふさわしい街路樹の全体的な整備保全計画と課題は。

<市長答弁>

街路樹の整備保全計画は「宝塚市緑の基本計画」の下位計画として作成する。歩道幅員が狭い箇所の植樹が歩行者導線を妨害していることや根上がりによる歩道路面の隆起や損壊などが課題。

<質問>

桜並木や銀杏並木等の樹木が弱っている様子がある。適切に判断し対処するために樹木医の意見を。

<市長答弁>

樹木医の診断を取り入れた成育調査を行っている。

コロナ禍における学校現場の取組

<質問>

現在までの授業の進捗と今後は。

<教育長答弁>

授業は概ね計画通りに進んでおり本年度中に終了できる見込みである。一方で、感染症対策のためペア学習やグループ学習などの対話的な学習が実施しにくい状況であり、多くの行事が制限され児童生徒の主体的な学びの場も少なくなっている。

<質問>

マスクでの活動が長期化する中、学習意欲の低下をはじめ、生活上の不安や対人関係等の子どもの心身の課題に対応できているのか。心のケアは。

<教育長答弁>

通常とは違う制約の中で学校生活を送っているため、児童生徒への積極的な声かけや観察、相談への対応等、丁寧な関わりをするように努めている。

<質問>

教職員の長時間勤務による疲弊や、教職員不足の深刻化が重大な課題である。中教審においても実現すべき教職員の姿として「教師が創造的で魅力ある仕事だと再認識され、志望者が増加し、教師自身も志気を高め、誇りを持って働くことができている。」と挙げられている。働き方改革の進捗は。

<教育長答弁>

勤務の適正化として、教職員の在校等時間の上限等に関する規則を制定する等の取組を進めている。校務支援ソフトの導入や学校閉鎖日の実施、留守番電話の導入などによる負担軽減。SC、SSW、特別支援教育等の専門人材の参画、スクールサポートスタッフの配置等も行っている。しかし、実質的な超過勤務時間の減少になっていないので、会議や研修、学校行事等の精選と開催方法の工夫等による総業務量の削減にさらに取り組む。

<質問>

部活動は休日を含め教師の献身的な勤務によって支えられており、長時間勤務の要因ともなっている。学校の働き方改革を踏まえた部活動改革は。

<管理部長答弁>

文部科学省の「休日の部活動の地域移行」という方針を十分研究していく。

## 10/16 ジェンダー平等教育学習会 (美方郡教職員組合)

戦後家庭科のあゆみから見えることや、LGBTsの子どもたちを支援しその生き方を尊重する取組を教育現場でどう進めていけばいいのか等意見交換。



## 11/7 いいな!9条 宝塚市民集会 「子どもたちに残したい平和と憲法9条」

宝塚九条の会と市民・議員有志が集まった。



## 11/27 宝塚初の女性特別救助隊員

宝塚市で女性レスキュー隊員が初めて誕生したと聞き、西消防署を訪問・激励した。彼女は和歌山県出身。人を救う仕事に憧れ、熱心に訓練に取り組んできたそうだ。水泳選手だったので体力&筋力に自信もあるとのこと。ご活躍を!!



## 12/5 記憶の中の「生」再生プロジェクト (みんなで積もう「生」の石積み)

1月16日：鎮魂イベントが予定されている



## 風のこころ

「宝塚市子どもの権利サポート委員会」は、国内人権機関の地位に関する原則「パリ原則」に従って設立された、行政から独立した公的第三者機関である。子どもからの相談や相談

者への助言、子どもの意見を代弁する「子どもアドボケート」、モニタリング、子どもの権利条約広報など、多岐にわたる役割を担うこの機関の重要性はますます高まってくると思われる。また、保育・学校現場との連携も必要不可欠になると考える。